

3章の専門用語

causal mechanism

因果の仕組み。

sufficient cause

十分要因。

component causes

構成要因群。または、要因構成成分。

environmental

環境 (の)

strength

強さ。強度。

interaction

交互作用。または、相互作用。

induction period

導入期間。構成要因群の1つの作用が始まってから、最後の1つが揃って発病するまでの期間。

initiator

イニシエータ。発癌の2段階説において、最初に細胞にわずかな変化を起こす物質。狭義の発癌因子。

promotor

プロモータ。促進因子ということもある。イニシエータによって変化が起こった細胞における腫瘍形成を促進する物質。<http://ntp-server.niehs.nih.gov/htdocs/LT-studies/tr444.html> などを見ると、promoter と綴るのが普通らしい。

latent period

潜伏期間。病気の発生から検出までの期間。

induction

帰納。帰納法。induction period と混同しないように注意。

refutationism

反証主義。科学哲学者カール・ポパーが提唱。ポパーは、自然についての言説は演繹的な (deductive) 証拠によって妥当性を確認されることはないけれども、演繹的論理によって論破されうると主張。反証可能性が高い仮説ほど経験的価値が高いということ。例えば、「神は実在する」という言説は、反証しようがないので経験的価値をもたない。「水は 100 °C で沸騰する」という言説について考えてみると、海拔 0 メートルで 1 万回の実験を繰り返して 100 °C であったとしても、常に 100 °C であるという証拠にはならないが、デンバーのような高地にある町で実験して 100 °C よりずっと低い温度で沸騰するという反例が 1 つあれば否定される。すべての科学的言説は反証されるまでの寿命しかもたない仮説にすぎないので、実験や観察によって反証される潜在的可能性が高い仮説ほど科学的（経験的）価値が高い仮説である、と反証主義では考える。

conjecture and refutation

予想と反駁。ポパーのいう意味では、それぞれ仮説と反証に相当する。